



# 関宮学園

学校だより 10号  
R 6. 7. 5

## 校訓「敬・愛・信」

### 部活動壮行会

7月3日(水)に壮行会を行いました。子どもたちに送ったメッセージを紹介します。

いよいよ総体及び吹奏楽コンクールが行われる季節がやってきました。自分たちの目標に向かって、これまでの練習の成果が十分に発揮されるよう願っています。



さて、今月26日から来月11日まで、フランスのパリでオリンピックが開かれます。東京オリンピックから3年、再び、世界最高峰のプレーが見られる絶好の機会が訪れます。楽しみにしている皆さんも多いのではないのでしょうか。先日、2008年の北京オリンピックで銀メダルを獲得した陸上競技選手の講演を聴いたので、今回は、その話を紹介して、皆さんへの激励の言葉とします。

その選手は、朝原宣治といいます。オリンピックの舞台に立つこと、ましてや、メダルを獲得されたのですから、想像を絶するような練習や努力を積み重ね、自分の限界に挑戦し続けられたことと思います。その朝原選手から、北京オリンピックの4×100mリレー競技でメダル獲得につながった勝因を聴きました。北京オリンピックの前後で、練習内容は大きく変えていなかったそうです。では、何が変わったのか。それは、マインドです。北京オリンピックより前は、他の国の選手を見て「こんな選手に勝てるのだろうか。」と弱気になっていたのですが、それが、やがて、「もしかしたら、勝てるのではないか。」「勝てるのではないか。」と変容していったそうです。自分のマインドを変えることが、メダル獲得につながったのです。

皆さんはいかがでしょうか。大会まで残された時間はわずかです。マインドを少しでも変えることで、自分の最高のパフォーマンスが発揮できるのではないのでしょうか。

その他にも「リレーは信頼関係を構築しないと、バトンパスはできないこと」や「ルールを守り正々堂々と戦うこと」について話されました。皆さんも、仲間を信じ、顧問の先生とともに、チームワークを大切に、関宮学園のプライドを持って正々堂々と戦ってきてほしいと思います。

## 学校支援ボランティア

6月20日(木)に、民生委員・児童委員の皆様には校庭の草刈りをさせていただきました。子どもたちの教育環境が整いました。いつもありがとうございます。17日(月)には、関宮学園・関宮中学校同窓会の評議員会が開かれました。私どもも参加させていただいたのですが、卒業生の皆様にも学校を応援していただいていると実感した会議でした。

## 教育委員の皆様が来校される

6月20日(木)に、市の教育委員の皆様には子どもたちの様子を見ていただきました。皆様から以下のようなご意見をいただきましたのでご紹介します。

- ・子どもたちが朗らかである。
- ・三大全力(全力挨拶、全力清掃、全力合唱)のよき伝統が実践されている。  
廊下ですれ違うと、誰もが挨拶をしてくれる。広い校舎であるが、清掃が行き届いている。この伝統を大切にしてほしい。
- ・下駄箱の靴やトイレのスリッパがそろっている。

子どもたちのことをたくさんほめていただきました。その中で、子どもたちの「なぜ」を大切にしてほしいとの助言もいただきました。

いつも話が古くてすみません。テツ and トモをご存知ですか。赤いジャージと青いジャージのコンビです。代表的なネタは、♪なんでだろう?なんでだろう?です。

この「なんでだろう」という疑問を持つことが大切で、学びの第一歩です。学校では、ご助言どおり、子どもたちの「なんでだろう」を大切にしたいと思います。「なんでだろう」が解決すると、「ガッテン ガッテン」(これも古いですが、昔のNHKの番組です)となり、子どもたちは、学ぶ喜びを感じるはずで、それが次の学ぶ意欲につながります。

私たち大人も日常で、「なぜ」と疑問に思うことが出てきます。今なら、スマートフォンで調べれば、簡単に答えが見つかり解決します。時には、即時性が必要なこともありますが、子どもたちには、手間をかけて疑問を解決してほしいと思います。友だちと話し合う、本を読んで調べるなど、手間をかけることで深く考え、本物の学びになると考えます。

## 合同ユュータイム

前期課程では、これまで毎週木曜日をノー掃除デーにして、ユュータイムとして縦割り活動などを行ってきました。今年度は、生徒会の提案で、限られた日になりますが、後期課程でもノー掃除デーを設け、昼休みの時間を長くすることにしました。6月20日(木)は初めてのノー掃除デー、合同ユュータイムでした。この日の企画は、衛生部の健康クイズ。体育館で全校生がクイズに挑みました。義務教育学校の強みを生かして、1年生から9年生までが一緒に活動できる昼休みになるよう児童生徒会が企画してくれます。子どもたちがゆとりをもって学校生活を送れるよう工夫していきたいと思っております。

